

アドビシステムズ社、 ファイアウォール内外で文書の保護と管理を可能とする 新しいホスティング サービスを提供開始

Adobe Document Center によって PDF、Word、Excel による文書の保護と柔軟な管理機能を ナレッジワーカーに提供

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2006年11月15日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ以下アドビシステムズ社）は、コミュニケーションやコラボレーションなど日常業務において、Adobe® PDF、Microsoft® Word、Microsoft Excel といった各種文書を効果的に保護、共有するとともに、使用状況を追跡することができるナレッジワーカー向けの新しいホスティング サービス Adobe® Document Center を発表しました。Adobe Document Center は、操作性の高い新しい Web ベースのサービスであり、ビジネスユーザは、ファイアウォール内外に配布された文書のアクセス権限を迅速に付与または取り消すことができるほか、閲覧、コメント付与、印刷など、文書の使用状況を追跡することができます。

アドビシステムズ社 ナレッジワーカービジネスユニット担当シニアバイスプレジデントであるトムヘイル（Tom Hale）は、「ビジネスにおけるコラボレーションは、企業間でいかに重要な情報をやり取りできるかに依っています。しかし、中堅中小企業のユーザにとって、いったん配信された情報の管理は多くの場合、困難です。他のセキュリティソリューションでは、コントロールできるのは受信者が最初にファイルにアクセスする場合のみであるため、提案書や契約書などの機密性の高い文書が作成者の知らないうちに転送される危険性が伴います。当社は Adobe Document Center によって、企業規模の大小を問わず、個々のユーザが機密情報を管理、保護できるセキュリティ環境を実現しています」と述べています。

Adobe Document Center は、ビジネス、時間、バージョンに関して取り扱いに注意を必要とする文書の共有を行うビジネスユーザ向けに設計されています。顧客にデザインを提出して確認を求めるフリーランスのグラフィック デザイナーから、クライアントとの間で機密ファイルのやり取りを行う法律事務所まで、ユーザは文書のアクセス権限をカスタマイズし、詳細な使用状況を追跡し、文書がいかなる場所にあっても文書の管理を維持することができます。また、文書の有効期限を設定したり、新しいバージョンによって古いバージョンを置き換えたり、配布後にアクセス権を取り消したりすることもできます。さらに、文書を誰が受け取ったかを追跡し、受信者がそのファイルに対して何を行ったか、あるいは何を行おうとしたかを追跡することも可能です。

Adobe Document Center を使用することにより、ビジネスユーザはいくつかの方法を通じてファイルの保護と柔軟な管理を行うことができます。Adobe Acrobat® 8 で PDF ファイルを作成した場合は、ワンクリックでホスティング サービスに接続し、Acrobat 上で簡単にセキュリティ設定を適用することができます。Microsoft Word および Excel 2003 ファイルを保護する場合は、容量の少ないプラグインをインストールするだけで、これらのアプリケーションからもセキュリティ設定を直接かつ迅速に適用することができます。さらに、今後は Adobe Document Center 上で直接、ファイルを PDF に変換してセキュリティとコントロールの設定を行うサービスを開始する予定です。

Adobe Document Center において、管理中の文書を閲覧、およびその他作業を行う場合は、PDF ファイルの場合は無償の Adobe® Reader® 8 を使用し、Word および Excel ファイルの場合はプラグインを使用するだけです。作成者が特定の個人のみがアクセスできるように文書のアクセス制限を設定している場合、受信者は Adobe Document Center の Web サイトで簡単に作成することのできる Adobe ID を使用してファイルへアクセスします。受信者は文書を表示するたびに Adobe ID と自分で設定するパスワードの入力が求められるほか、作成者から指示された電子メールアドレスを使う必要があります。

Adobe Document Center は、Adobe Acrobat® Connect™ および Create Adobe PDF Online とともに、個々のナレッジワーカーが先進のコミュニケーションおよびコラボレーション環境を利用することができるホスティングサービスの 1 つです。アドビシステムズ社は今後、PDF にセキュリティを付与するホスティングサービスをさらに追加する予定です。

また、アドビシステムズ社は、文書の保護と管理を行うエンタープライズ向けソリューション Adobe® LiveCycle™ Policy Server 7.2 を発表しました（別途リリースをご覧ください）。Adobe LiveCycle Policy Server 7.2 はライセンス販売により提供されるエンタープライズ権利管理（ERM）ソリューションであり、企業が Adobe PDF、Word、Excel、Dassault Systemes CATIA V5 を含むさまざまなフォーマットの文書を、ライフサイクル全体を通じて保護、管理することができます。

価格と入手方法について

アドビシステムズ社では 2006 年内まで、保護対象となる文書数が無制限の Adobe Document Center の無償体験版を提供しています。Adobe Document Center の製品版（英語版）は 2007 年初に開始予定であり、他の言語バージョンは 2007 年中の提供開始が予定されています。Adobe Document Center において、ファイルを PDF に変更した上で文書のセキュリティと管理の設定を直接適用できる機能は、2007 年上期に提供開始予定です。詳細については、<http://dc.adobe.com> をご覧ください。Adobe Reader 8 は 2006 年 12 月中に提供開始予定です。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。